



体験は生きる力に



紫陽花の色が美しく映える頃となりました。ピンクや紫や水色などの紫陽花が、あちらこちらで咲いています。紫陽花の花の色は、育った土と水で決まるそうです。色のベースになるのは「アントシアニン」という色素です。「アントシアニン」は通常は赤色ですが、土壌から溶け出してきたアルミニウムと反応すると、青色に変化します。また、アルミニウムが溶け出す量は、水の酸性度によって決まり、酸性だとよく溶けて、中性～アルカリ性だとあまり溶けません。したがって、紫陽花は、土が吸収した水が酸性だと青色、中性だと紫色、アルカリ性だと赤色になるのだそうです。

ところで、今年度、吉原北中校区は食育推進地区に指定され、本校でも学年に応じた食育の学習を計画しています。先日は、2年生が“自分が決めた”野菜の苗を植えました。神戸地区の「アグリゴッド」の方、地域や保護者のボランティアの方々にご協力いただき、土の入れ方や肥料の混ぜ方など、分かりやすく教えていただきました。子どもたちは、「(苗を)優しく持とう。」「早く大きくなってね。」「たくさんとれるといいな。」と、自分の苗の成長を心待ちにしていました。

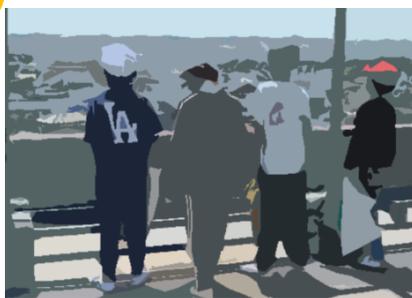
6年生は、税務署の職員の方が来校し、税について学習しました。日本には50種類ほどの税があることを聞いたり、税金がなくなった場合の暮らしについてアニメを観たりして、税の大切さを学びました。さらに、アタッシュケースに入った1億円(レプリカ)を持ち上げて「重い!」「それほどでもないな。」「本物だったらいいのに…」と、思いを口にしていました。

子どもたちも、たくさんの方々を支えられながら様々な体験を通して多くのことを吸収し、一人一人いろいろな力を発揮してほしいと思います。

5月のできごと



5月19日(月)に、第1回学校運営協議会を開催しました。富士市では、令和6年度より市内全小中学校がCS(コミュニティスクール)となりました。神戸小は今年度で6年目となり、地域とともにある学校としての取組が進んでいます。当日は、授業参観をした後、「子どもたちのために」の思いを形にするため、様々な話し合いを行いました。また、通学路や防犯対策等、子どもたちの安心・安全についても意見が出されました。



3年生は、社会科の学習で屋上から景色を眺め、見たものをプリントにまとめました。その後、学区を実際に歩き、神戸地区の特徴や土地の利用について学びを深めています。



先日、2年生が、1年生にあさがおの種をプレゼントしました。

1年生が種を植えるとき、2年生が手伝ってくれました。頼もしいお兄さんお姉さんです。

